

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	46
2. 大学等名	杏林大学
3. テーマ	III. 高大接続
4. 取組学部等名	外国語学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（399.5文字）
<p>本申請事業の基本構想は「日英中トライリンガル育成のための高大接続」である。昨年度まで、外国語学部が中心となって全学的に展開して来た「グローバル人材育成推進事業」（新「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」）の取り組みを高等学校へ積極的に開放することで、本学のグローバル人材育成が拠って立つ認識を高校生にも普及し、グローバル人材になる志を持った若者の成長を促進する。</p> <p>本学では、平成21年度に中期計画実行委員会内に高大連携推進実行部会を立ち上げ、「高大接続」を学園の重要な事業計画に位置づけてきた。高大連携の実績を基盤として、教育機会の提供に留まらず、グローバル人材育成という教育目標を共有する高等学校との連携に特化する形で、教育内容、教育方法、教育成果の発展的連携・接続を図っていく。キャンパス移転を契機に飛躍的進展を望むことができる高大接続の加速を図り、杏林大学の社会的機能を強化する。</p>	